

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校算数（小学5年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)の出題のねらい

- ◇ 十進位取り記数法について理解している。
- ◇ 帯分数+真分数=帯分数（繰り上がりあり）の同分母分数の計算ができる。
- ◇ 図を使って、比較量を求めるための乗法の立式ができる。
- ◆1 小数第一位-小数第二位の計算ができる。
- ◆2 分度器の中に示された角の大きさの目盛りの読み取り方を理解している。
- ◆3 ひし形の作図ができる。
- ◆4 複合図形で、面積の求め方や図を表した式を選んでいる。

課題に対応した指導改善のポイント

小数の減法の計算についての設問、角の大きさの測定についての設問、ひし形の性質を基にした作図についての設問、複合図形の内積の求め方や図を表した式を選ぶ設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、次のような指導改善を行いましょう。

- ◆1 小数の減法の計算において、小数点の位置を揃えてかき、空位を0と考えれば、整数のときと同じ仕方で計算ができることに気付く活動や、数の大きさの感覚を用いて計算の結果について見積もる活動、加法を用いて減法の計算の結果を確かめる活動を設定する。
- ◆2 直角の大きさを基準として、角の大きさが「90度よりも小さい」「180度よりも大きく270度よりも小さい」というように角の大きさに見当を付け、測定する活動を設定する。
- ◆3 辺の長さや角の大きさ、対角線の長さ等の図形を構成する要素に着目し、様々な四角形の性質を見いだす活動や、見いだした図形の性質を基に、平行四辺形やひし形の作図の仕方を考える活動を設定する。
- ◆4 複合図形の内積を求める際に、図形の合成や分解、変形など図形の構成に着目することで、既習の正方形や長方形の内積の求め方に帰着して考える活動や、式と図を関連付けながら面積の求め方を他者に説明する活動を設定する。

佐賀県教育センターWeb ページ「授業に役立つ実践研究」においても、授業改善に役立つコンテンツ等を発信しています。ぜひ、御活用ください。

